

市政を問う 一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、24人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (政和) = 政和会
- (公明) = 市議会公明党
- (フォ) = フォーラム小平
- (緑ネ) = 緑・ネット
- (共産) = 日本共産党小平市議団

行政一般

市政の新たな課題に対する市長の決意はいかに

ついでどう考えるか。
②市は北朝鮮人権侵害問題啓発週間何をするか。
③朝鮮大学のフェスタでブルーリボンをつけた人が入場拒否されたが、抗議すべきでは。

常松大介議員(フォ) 市長は就任以来多岐にわたる事業を実現、発展させてきたが、残された任期で諸課題を解決するのは困難と考える。4月の市長選挙に出馬して課題解決に取り組んでほしいが決意はいかに。

市長 公約を市の施策として位置づけおおむね順調に推移していると考えますが、市民の市政への参加や安全・安心、健康福祉等の各分野に課題があるので、市長選挙に立候補し、再び市民の信任を得て引き続き市政運営に当たる決意である。

近隣住民トラブルは増加しているのか
滝口幸一議員(フォ) ①市への相談は増加しているか。
②市の介入で解決した事例は。
③未然に防止する方法は。
④精神疾患が疑われる人とトラブールになった場合は。

市長 ①増加傾向にある。
②当事者間での解決が原則だが、助言により解決した事例はある。
③自治会活動などを通じて、近隣住民のつながりを深めることが大切と考える。
④東京都等の関係機関や、家族等への相談が必要と考える。

市民の朝・日フレンドシップフェスタの入場拒否について
鴨打喜久男議員(政和) ①市長は拉致被害者及び救出運動に

事業の予算化等で、規模は約2億1千8百万円である。
②限度額3百万円を3年にわたり無利子で貸し出す、不況対策特別融資事業を平成21年1月から予定している。
③現時点では未確定な状況にあるため、評価は差し控えたい。
市長等の退職金制度は見直すべきか
浅倉成樹議員(公明) ①再任された場合は支給されない制度に変更すべきでは。
②市長みずから退職手当を削減した理由は、また、再任された場合はどうするのか。
市長 ①多摩地区では26市中25市が任期ごとに支給しているの

医療・健康

国民健康保険の被保険者資格証明書は発行の停止を

佐藤 充議員(共産) ①発行基準と事前の話し合いは。
②事実上、保険証を取り上げらるものであり、発行を停止すべきでは。
市長 ①特別の事情がなく1年間滞納した場合は短期被保険者証に切りかえ、窓口交付時に分割納付の相談等をしている。納付指導に届けば交付しないが、さらに1年以上滞納が続く場合は交付対象となる。
②重要な収納率向上対策であり、加入者間の負担の公平性を図るためにも必要と考える。

石毛航太郎議員(フォ) ①国民健康保険資格証明書を発行した世帯に、中学生以下の子どもがいるか。
②国民健康保険や社会保険等に加入していない、無保険の世帯はあるか。
③無保険の世帯が医療機関を受診した際、市に連絡は来るか。
市長 ①交付対象外としている。

経営感覚を持った行政運営を達成せよ
浅倉成樹議員(公明) ①行財政再構築プランの改革推進プログラムにおける定員の適正管理の達成状況と、今後の見通しは。
②市立保育園の民営化による経費削減効果とサービスの質の確保に対する考えは。
市長 ①目標の914人に対して平成20年4月時点では923人となっている。今後も目標を達成できるように努めていきたい。
②100人規模の園を公設民営化した場合は約3千9百万円、民設民営化した場合は約8千3百万円の削減効果があると試算しており、同質の保育サービスが確保されるものと考えている。

産科・周産期医療の諸問題について
佐藤 充議員(共産) ①周産期救急情報システムの問題が指摘されているが認識は。
②北多摩北部医療圏で産科医

妊産婦健診と中学3年生までの医療費の完全無料化について
山岸真知子議員(公明) ①妊産婦健診の完全無料化に取り組むべきでは。
②現在は5回分を公費負担しているが、健診内容によっては完全無料になっていないので、市独自に助成できないか。
③中学3年生までの医療費を完全無料化するために、助成制度を拡充する考えは。
市長 ①国の取り組み内容が明確になるのを待って検討していきたい。
②現状では難しい。
③都から助成制度の見直し案が示された段階なので、直ちに対応を決定するのは難しい。

産科・周産期医療の諸問題について
佐藤 充議員(共産) ①周産期救急情報システムの問題が指摘されているが認識は。
②北多摩北部医療圏で産科医

産科・周産期医療の諸問題について
佐藤 充議員(共産) ①周産期救急情報システムの問題が指摘されているが認識は。
②北多摩北部医療圏で産科医

産業振興

小平市の観光行政とはいかにあるべきか

佐野都夫議員(政和) ①小平の観光のイメージについて、対象者と波及効果は。
②観光名所には何があるか。
③行政の役割は。
市長 ①ちょっとした時間に気軽に訪れる人を想定しており、波及効果は試算してない。
②小平グリーンロード、平櫛田中彫刻美術館、ふれあい下水道館等が挙げられる。
③社会資本の整備や、民間や市民等と連携して体制をつくり、情報収集、調査研究などを進め、情報共有に努めながら観光の推進に当たることと考える。

社会資源としての商店街について
滝口幸一議員(フォ) ①社会資源としての機能をどう考えるのか。
②行政として商店街にお願いしたい機能は。
③現在検討している施策は。
市長 ①地域産業活性化のほか、コミュニティの中心としての役割も期待されている。
②にぎわいと交流の場を創出し、地域課題の解決に取り組み、快適な環境の整備に努め、魅力ある商店街を形成してほしい。

津本裕子議員(公明) ①地場産業創出の課題は。
②産業創出にはリーダーの養成が不可欠だが市の取り組みは。
③道の駅のような形態で物品を集積、販売し、流通面まで含めた産業活性化を図ることが有益と考えるが見解は。
市長 ①ブルーベリーについては、加工用の安定生産と加工商品の販路確保が課題である。
②都の若手商人育成事業等を活用し、人材育成を図っている。
③グリーンロードに沿った店舗等で、農産物や特産商品等の販売ができないか工夫したい。

産科・周産期医療の諸問題について
佐藤 充議員(共産) ①周産期救急情報システムの問題が指摘されているが認識は。
②北多摩北部医療圏で産科医

産科・周産期医療の諸問題について
佐藤 充議員(共産) ①周産期救急情報システムの問題が指摘されているが認識は。
②北多摩北部医療圏で産科医



レンタルBOX学園坂—東京商店街グランプリ(活性化事業部門)で優秀賞を受賞